

少年少女世界伝記全集

ナポレオン

石川 光男



主婦の友社版

少年少女世界伝記全集 24

ナポレオン

	石 川 光 男
	ナポレオン 主婦の友社 昭和52年(1977) 160p 22cm 〔分類〕909

筆 者 石 川 光 男
発 行 者 石 川 晴 彦
印刷・製本 凸版印刷株式会社
定 価 480円 昭和52.11.30 発行
発 行 所 株式会社 主婦の友社
東京都千代田区神田駿河台1-6
郵便番号 101 振替 東京2-180番
電話 東京(03)294-1111(大代表)

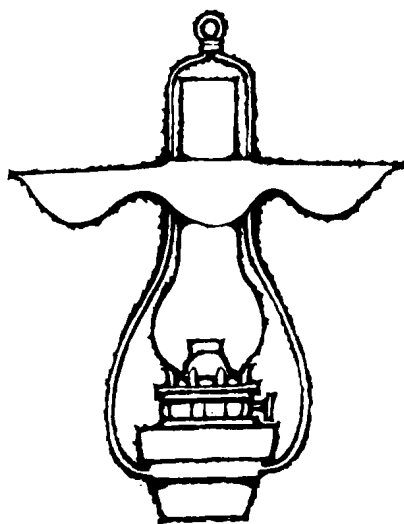
©1977 落丁・乱丁はおとりかえします。 著者との話しあいにより検印廃止。

少年少女世界伝記全集

ナポレオン

文・石川光男

絵・小原拓也

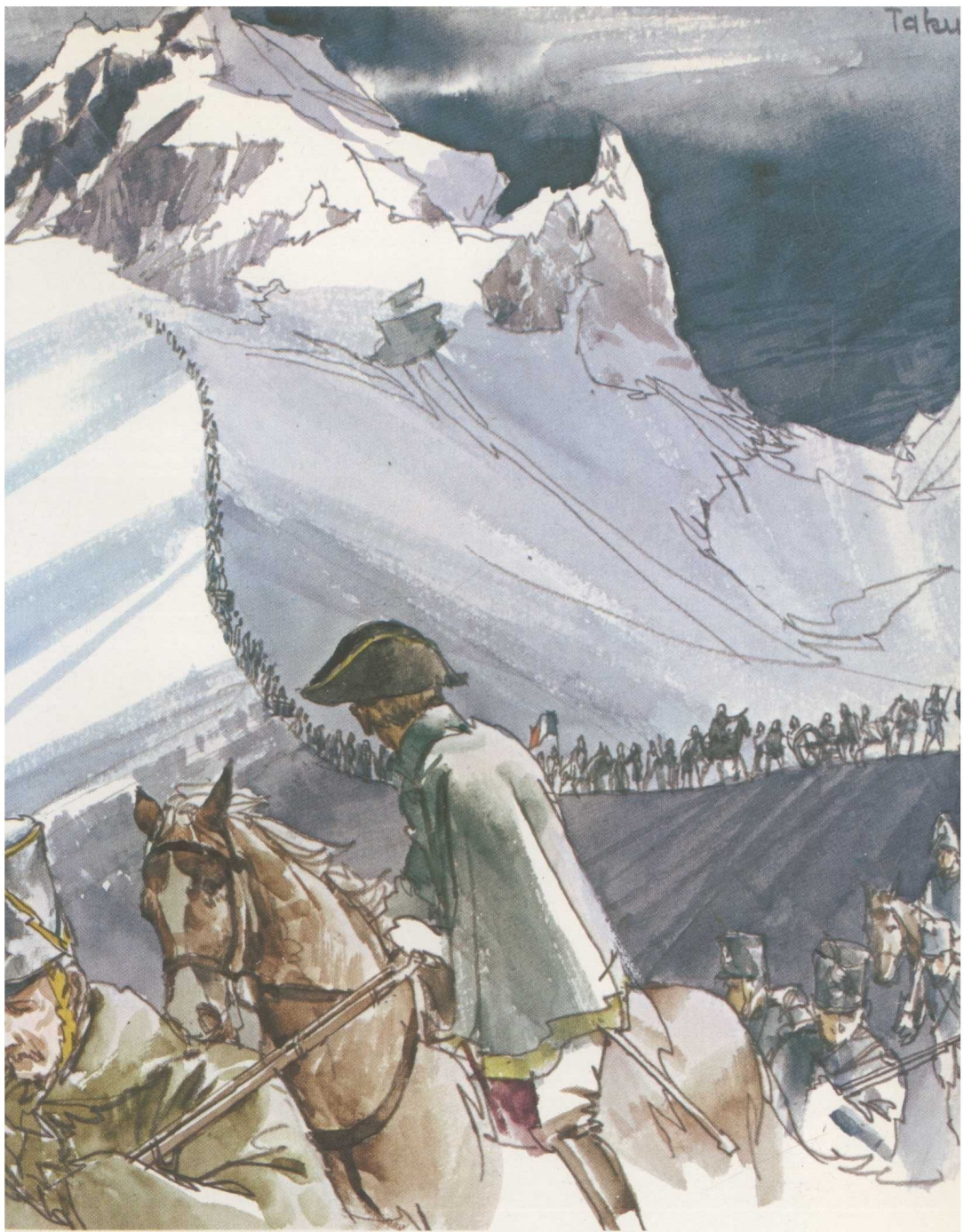


主婦の友社版

デザイン 駒宮録郎
装丁



「あいつのかっこうを見ろ。みっともないっつらない。
 こびとこがおとなおとなの服ふくを着きているみたいだ。」幼年学校ようねんがっこうの同級どうきゅう
 生せいたちは、そういって、ナポレオンをばかにしたのです。



わに^て出ることができました。



ナポレオンにひきいられたフランス軍^{ぐん}は、あらゆる障^{しょう}害^{がい}をつきやぶって、前^{ぜん}進^{しん}また前^{ぜん}進^{しん}をつづけ、ヨーロッパの壁^{かべ}といわれた難^{なん}攻^{こう}不^ふ落^{らく}のアルプスをこえて、イタリアが



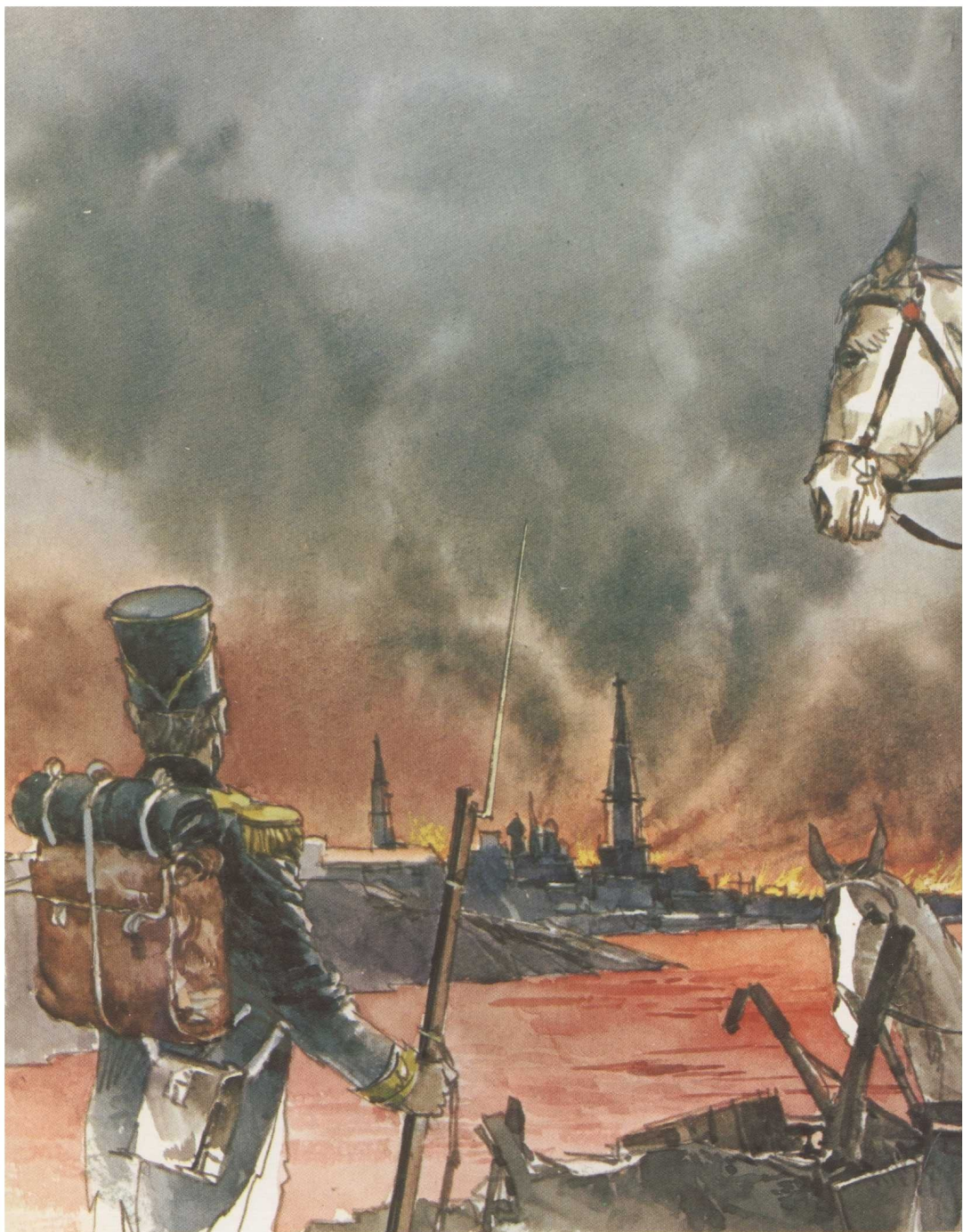
にのせてやりました。ジョセフィンはこのほまれの^ひ目を
むかえることができた^{はな}喜びで、なみだぐんでいました。



「この王冠は人から与えられたものではない、自分自身の力でかちえたのだ。」そうって、王冠をみずからの手でかぶったナポレオンは、皇后の冠をジョセフィンの頭



すすべがなく、ただ^{まち}が^や焼けおちるのをながめるばかり
でした。



フランス軍がモスクワに入城した夜、とつぜん、町のあちこちからいっせいに火の手があがり、たちまちモスクワ全体がものすごいほのおにつつまれました。だれもな



戦いに敗れたナポレオンは、セント・ヘレナ島に流されました。彼はそこでほんとうにさびしい日々をおくりました。

みなさんへ

「ナポレオン」という名^なまえをきいたことがありますか？ きいたことはあるけれど、なにをした人^{ひと}かを知^しっている人^{ひと}はすくないでしょう。

フランスの軍人^{ぐんじん}で、政治家^{せいじか}だった人^{ひと}で、今^{いま}から二百年^{ひやくねん}まえのヨーロッパを、ひっくりかえすようなたいへん大きなあらしをまきおこしました。頭^{あたま}がよくて、あばれんぼうで、世^よの中^{なか}の古いもの^{ふる}を全部^{ぜんぶ}変^かえてしまおうとしたのです。

そのナポレオンの一生^{いっしやう}は、これほど変^{へん}化^かのあつた人^{ひと}もないのではないかと思^{おも}われるほどで、小島^{こじま}に生^うまれたびんぼう貴族^{きぞく}の子^こでありながら、どんどん出^{しゅつ}世^せして、フランス一の将軍^{しょうぐん}になり、フランスの皇帝^{こうてい}になり、そしてヨーロッパを民主主義^{みんしゆしゆぎ}にもとづく一つ^{ひとつ}の国^{くに}にしてしまおうと、さかんに戦^{せん}争^{そう}をやりました。けれど、さいごの一戦^{せん}でおしくも大敗^{たいはい}し、とらわれの身^みとなって、さびしく大西洋上^{たいせいようじやう}の孤島^{ことう}で命^{いのち}をなくしました。

英雄^{えいゆう}ナポレオン——ヨーロッパでは、そういつて、いまだにだれもがナポレオンをなつかしんでいます。

石川^{いしかわ} 光男^{みつお}

もくじ

コルシカ島のわんぱく少年……………15

負けいくさ……………15

船出……………20

読書ずきの少年……………28

最初の大勝利……………36

王座にのぼる……………47

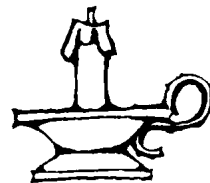
フランス革命……………47

雪のアルプスごえ……………52

エジプトにせめのぼる……………62

政治の世界に	72
国内のたてなおし	81
フランス皇帝になる	88
戦争のあけくれ	101
トラファルガルの海戦	101
ウィーン、ベルリン、マドリッド	110
モスクワへ進軍	120
エルバ島へ	133
英雄のさいご	140
あとがき	154
年表	158

コルシカ島のわんぱく少年とう



負けいくさま

ひるま、山やまの下したのみなと町まちからきこえていた、はげしい鉄砲てつぽうの音おとが、夜よるになると、
すっかりしずまりました。

「戦争せんそうはどうなったろう。うまく味方みかたが勝かったかしら。そして主人しゅじんは無事ぶじに帰かえって